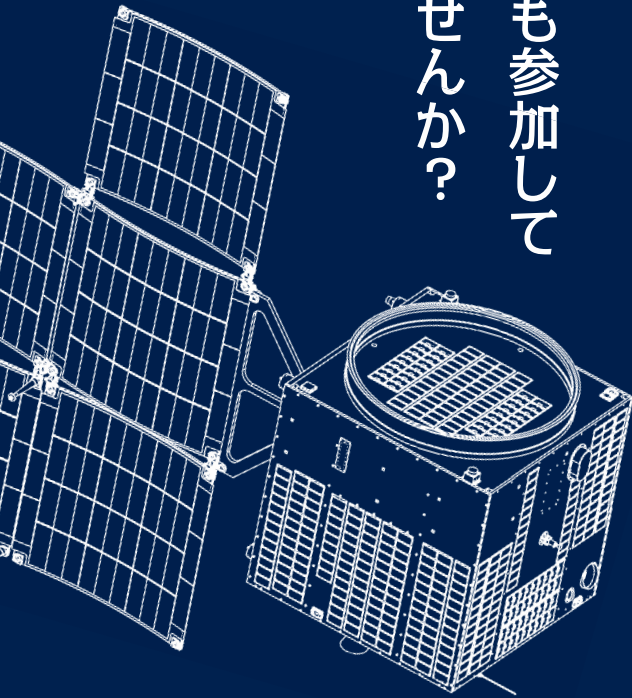


宇宙をつかう
未来をつくる

あなたも参加して
みませんか？

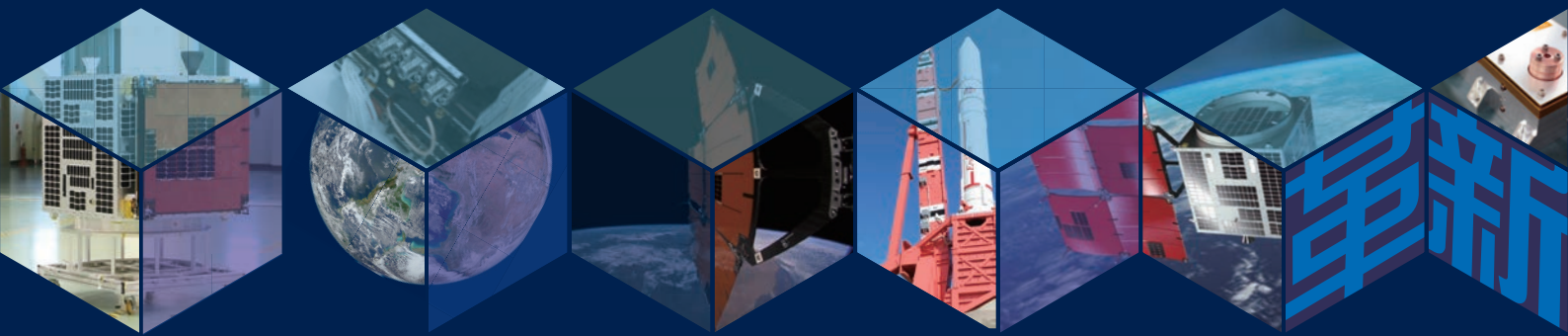


企業や大学などが開発した機器や部品、超小型衛星、キューブサットに

宇宙実証の機会を 提供するプログラム

革新的衛星技術実証プログラム 通年公募中

詳しくはこちら → <http://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/>



革新的衛星技術実証プログラム

本プログラムは、宇宙基本計画上の「宇宙システムの基幹的部品等の安定供給に向けた環境整備」の一環として、超小型衛星を活用した基幹的部品や新規要素技術の軌道上実証を適時かつ安価に実施するものです。

JAXA は、このプログラムを通じて以下の実現を目指します。

- 1 国や産業界の課題に対応しつつ、将来を先読みして、新たな利用を拓くミッションや産業競争力のあるシステム／サブシステムの創出に繋がる技術やアイデアの実証を行う。
- 2 リスクは高いが、日本の宇宙技術の発展と宇宙産業の国際競争力の確保に高い成果が期待される「革新的」な技術を優先的に取り上げ、実証を行う。

募集する実証テーマ

- 部品（電子部品、機械部品など）
- コンポーネント（機器）
- 小型衛星システム（超小型衛星【100kg程度まで】・キューブサット【3Uまで】）

応募資格

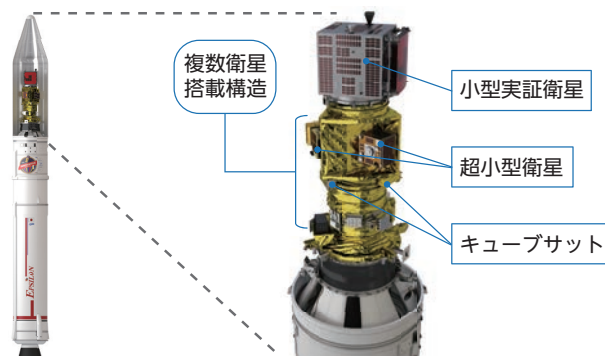
- (1) 日本国政府機関、日本国内の機関、法人、団体及びそれに属する者
- (2) 提案テーマの開発・運用までの作業を責任を持って実施する意思がある者

募集要項

応募条件等の詳細については、募集要項をご覧ください。

応募のあった実証テーマについては、JAXA の事前審査を経て、実証テーマ候補リストに登録させていただきます。

<http://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/>



革新的衛星技術実証プログラムの最初の実証機会である「革新的衛星技術実証1号機」の7機の衛星が、イプシロンロケット4号機で平成31（2019）年1月18日に打ち上げられました。

1号機は、JAXAがスタートアップ企業と協力して開発した「小型実証衛星1号機（RAPIS-1）」（7つの実証テーマを搭載）と6機の超小型衛星・キューブサットで構成されています。また先日、「革新的衛星技術実証2号機」のテーマが選定され、15のテーマの実証に向けた準備を進めています。



超小型衛星、キューブサットをJAXAで打ち上げます
機器や部品をJAXAの人工衛星に搭載して打ち上げ、宇宙で運用して得られたデータを提供します

公募に関する
問い合わせ先

一般財団法人 日本宇宙フォーラム 宇宙利用事業部「革新的衛星公募担当窓口」担当
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-1 新御茶ノ水アーバントリニティビル
E-mail : kogata-eisei@jsforum.or.jp

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙で
リサイクルできます。